

セアカゴケグモ

～クモにかまれないために～



見つけても
素手でさわらない！

セアカゴケグモは本来、オーストラリア、東南アジアなどの熱帯、亜熱帯地域に生息する毒グモです。近年、名古屋市内でも生息が確認されています。

習性はおとなしく、直接さわらない限りかまれることはないといわれていますが、万一の被害を防ぐため、正しい知識を持ちましょう。

名古屋市

セアカゴケグモはこんなクモ



メス（親グモ）

体長：約 1 cm（脚を含まない）

体色：全体黒色で、背中側に赤色のまだら模様

体形：腹部が丸い



オス

体長：約 3 mm



子グモ

体色：背中側に白い横しま模様



卵のう

（卵が入った袋）

大きさ：直径約 8 mm



<他のクモとの見分け方>



巣は地面近くで、
落ち葉等が絡まって
いることが多い。

お腹側の赤色の砂時計の模様は、
ゴケグモの仲間だけ。

※ 巣の形状

不規則で複雑な形

規則的な放射状の網



セアカゴケグモの巣



一般的なクモの巣

もしセアカゴケグモや巣を見つけたら…

もしセアカゴケグモや巣を見つけたら、かまれないように注意しながら駆除を行いましょう。

① 準備するもの

- 軍手など厚手の手袋 （作業中は必ず手袋をはめてください！薄手のゴム手袋は×）
- 市販の殺虫スプレー
- わりばしやピンセット

② 駆除方法



巣全体に殺虫スプレーを吹きかけ、クモを巣から追い出します。



セアカゴケグモは踏みつぶすか、殺虫スプレーをよくかけて駆除します。



わりばしやピンセットで巣を取り除きます。

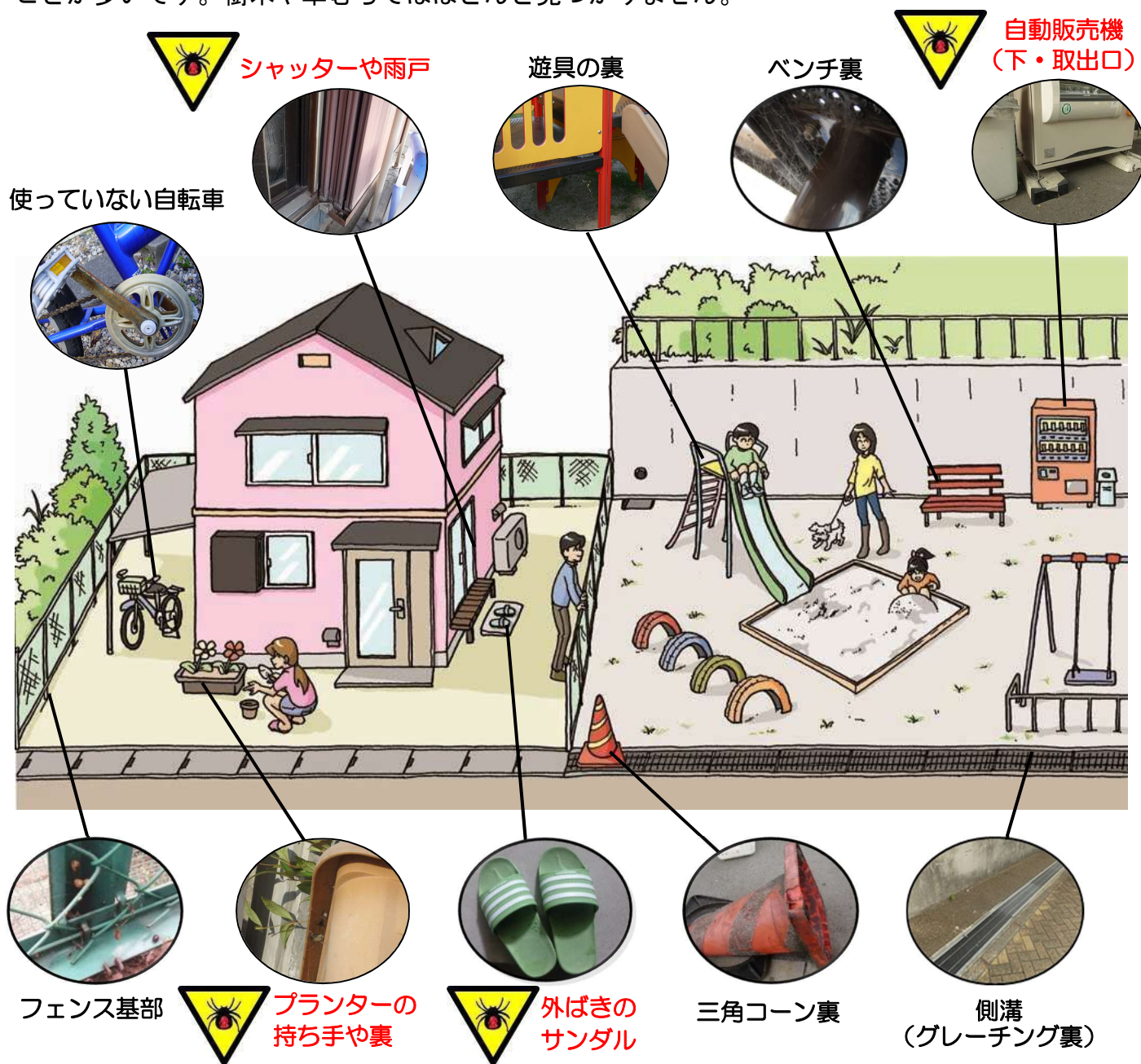


卵のうをしっかり踏みつぶし、清掃します。

（殺虫スプレーは卵のうには効きません。）

セアカゴケグモがよく見つかる場所

セアカゴケグモは、日当たりがよく低い場所にある、人工構造物のすきまや内部に巣を作ることが多いです。樹木や草むらではほとんど見つかりません。



<その他注意すべきところ>

屋外コンセント、水抜管、
屋外に置かれた軍手・ヘルメット など



要注意場所

国内で実際にかまれた
事例のある場所

<セアカゴケグモにかまれないために気をつけたいこと>

- セアカゴケグモを見つけても、絶対に素手でさわらない。
- 屋外での作業には軍手などの手袋を使用する。
- 屋外に置いてある物をさわるときには、セアカゴケグモがいないか確認する。
- 生息しそうな場所の清掃をこまめに行い、セアカゴケグモの棲みにくい環境にする。

かまれたときの症状

- かまれると、針で刺されたような痛みを感じます。
(すぐに痛みを感じないこともあります)
- その後かまれた箇所が腫れたり、痛みが全身に広がり、
発汗や吐き気を引き起こすことがあります。
- 症状のピークは3~4時間で、通常数時間から数日で症状は軽減しますが、
ときに脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。



※小児や高齢者、基礎疾患をお持ちの方などは重症化しやすいので、特に注意してください。

もしかまれてしまったら…



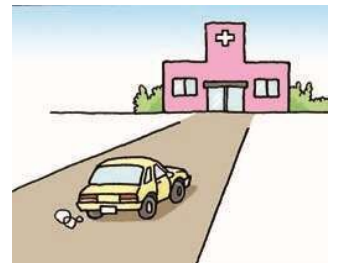
セアカゴケグモに
かまれたら…



かまれた箇所を水で
洗い、患部を冷やし
ます。包帯や止血帯
はしないほうが良い
でしょう。



市販の殺虫スプレ
ーなどでクモを駆
除します。



患部を冷やしながら、
できるだけ早く病院
へ行きます。

◎かんだクモを殺して持参すると、適切な治療につながります。

セアカゴケグモは特定外来生物に指定されていますので、生きたまま移動させることは法律で禁止されています。病院などには、必ず殺してから持参しましょう。

衛生害虫の相談は、保健センターへ

- 千種保健センター 環境薬務課
(担当区：千種区、昭和区、瑞穂区、名東区)
- 中村保健センター 環境薬務課
(担当区：西区、中村区、熱田区、中川区)
- 中保健センター 環境薬務課
(担当区：東区、北区、中区、守山区)
- 南保健センター 環境薬務課
(担当区：港区、南区、緑区、天白区)

☎ 7 5 3—1 9 7 3

☎ 4 3 3—3 0 6 4

☎ 2 6 5—2 2 5 6

☎ 6 1 4—2 8 6 2

※上記以外の保健センターでも来所相談を実施しますが、現地調査などは上記4保健センターに引継ぎます。